

新任教授紹介

実践を通じた地域救急医療の人材拡充、そしてグローバルな全人医療へ

地域救急医療学講座 教授

池田俊太郎

わたしの専門は、循環器内科の心血管インターベンション（カテーテル治療）で、血管からカテーテルを通し冠動脈や大動脈弁の治療を主に行っています。今後は大動脈弁以外の弁膜症など、構造的な疾患も治療のターゲットに広げようと考えています。

この講座で最も注力するのは地域医療の救急に携わる医師・研修医・学生の育成です。地域の基幹病院で、地域に根差した救急医療のトレーニング制度を中心に人的資源の拡充を図ります。市立八幡浜総合病院にはサテライトセンターがあり、そこで学生・研修医を対象に卒前・卒後教育を行っています。大洲・八幡浜圏域は県内で最も高齢化が進んでおり、実習を通して十分な経験を積むことができます。

当院の理念「患者から学び、患者に還元する」は医師としての私の座右の銘です。同じ病気を診察し、その本質に迫るという意味で都市部も地方も平等であり、場所には関係ありません。身はローカル（地域）に置きながらも、患者さんや病気をグローバルに（全体像として）診るというスタンスこそ地域医療では重要です。人材育成ではそうした医療の在り方も伝えていきたいです。

**PROFILE**

いけだしゅんたろう◎小中学時代は今治市、松山東高校卒業後愛媛大学医学部入学。愛媛大学大学院卒業後は県立南宇和病院、市立宇和島病院と計17年間南予を中心に診療。東予で育ち、中予で学び、南予で仕事をした生粋の愛媛県人。2020年4月より現職。趣味は音楽鑑賞。